

平成 27 年度府中市自立支援協議会  
相談支援部会中間報告

2015.10.20

## 【平成 27 年度の部会の経過報告】

< 第 1 回部会：平成 27 年 7 月 31 日（金）13:00～14:15 出席委員：9 名 >

- \* 今期の相談支援部会で議論を進めていくにあたって、まず平成 27 年 3 月に作成した前期の相談支援部会としての報告書に示した課題と提案に対して、府中市が具体的にどのような施策を検討しているのか、見解を示してもらうことが必要。
- \* 平成 27 年度より市の呼びかけで始まった「府中市特定相談支援事業所連絡会」の活動が毎月定例化している。そこで、現場の相談支援事業所に現状の課題や希望をヒアリングすることができるのではないかと。そのうえで、今期の部会としての議論の方向性を検討して行くことにする。

< 第 2 回部会：平成 27 年 9 月 3 日（木）14:00～16:00 出席委員：5 名 >

- \* 障害者福祉課課長補佐の相馬氏がオブザーバーとして参加。府中市より、報告書に対するレスポンスをもらい、意見交換を行う。（府中市からの説明の詳細は、別紙資料「障害者等地域自立支援協議会報告書を受けて市からの進捗状況報告概要」を参照のこと）
- \* 部会の後日、9 月 29 日（火）に開催された「府中市特定相談支援事業所連絡会」において、相談支援事業所へのヒアリングを実施。連絡会では、各事業所から「サービス等利用計画の作成やモニタリング以外の基本的な相談支援業務をしっかりとやるのが本来必要と考えているが、その部分に対する補償がなされていない」、「各事業所が自分の強みをアピールして分担していくことが必要」、「指定特定相談支援事業所が動きやすくなるよう補助をすればどうか」、「計画相談支援の重度加算的な制度を検討してもらいたい」、「相談支援部会に指定特定相談支援事業所の人も呼んでももらいたい」等の意見が出された。

< 第 3 回部会：平成 27 年 10 月 8 日（木）10:00～11:30 出席委員：5 名 >

- \* 9 月 3 日部会での市からの説明と、9 月 29 日の指定特定相談支援事業所連絡会での意見交換の内容を踏まえて、今後部会として検討する内容をしぼりこむ。
- \* 今年度の部会では、27 年 3 月報告書で示した「第 3 層（サービス等利用計画作成対象者となる方たちへの相談支援の部分）」の強化について、今後検討していくことにする。
- \* 府中市内の計画作成率は、9 月時点で 72%だが、セルフプランを除くと 40%弱の数値にとどまっている。とくに、障害児を対象とした支援利用計画の作成が進んでいない。
- \* 指定特定相談支援事業所の中には、同一法人内のサービス提供事業所の利用者の計画作成で手一杯になっているところがある。今後は、どの相談支援事業所にも、様々なケースの計画相談支援を受けられる力量が求められる。スキルアップのために、研修・事例検討等を市全体でどのように行っていくかを検討する必要がある。

\* 障害児に対する計画は、すでに作成された計画のうち 7 割以上がセルフプランになっている。障害児の計画作成を担える事業所が少なく、市内の現状の相談支援体制ではすべての障害児に計画を作成することは難しい状況である。府中市内に児童発達支援センターを設置することを早急かつ具体的に検討することが必要である。

< 今後の相談支援部会の予定 >

\* 第 4 回部会・・・11 月 13 日（金）開催予定

議題：市内の指定特定相談支援事業所を招いて、障害者へ計画相談支援を広げるための方策と、相談支援の質を保つための具体的な研修のあり方等について協議。

\* 第 5 回・・・12 月 1 日（火）開催予定

議題：子ども発達支援センターあゆの子の職員を招いて、障害児支援利用計画を広げるための方策と、児童発達支援センターの設置の必要性等について協議。

文責：鈴木卓郎（地域生活支援センタープラザ）